

よびごえ

大漁

金子みすゞ

朝焼け
小焼けだ
大漁だ
大羽いわしの
大漁だ
浜は祭りの
やうだけど
海のなかでは
何万の
いわしのとむらひ
するだろう



浄土真宗

仏光寺派
光明山
光善寺

〒915-0802
越前市北府2丁目2-18
Tel. 0778-22-1222

戦後日本は、豊かさを求め、猛烈な勢いで突っ走って来た。それを作家の五木寛之氏は、「アクセルを経済、ハンドルは政治、そしてブレーキを宗教にたとえると、まさにブレーキのない車が暴走しているようなものだ」と言われる。このまま走り続けて、その先は何が見えるだろうか。

宗教とは、「宗^{むね}となる教え」つまり、「その教えに自分の生き方を問うて行く」ことであらう。しかし悲しむべきこ

とに、その宗教自体も非常に混乱している。

人間の限らない欲望をあおりたてるもの。人間の弱さについて脅迫するもの。先祖供養でこと足れりとするもの。これらも皆同じく「宗教」として語られている。

しかし、五木氏の言われる宗教とは、勿^{もちろん}論人間を限りなく迷いへ導くようなものではない。この私の生きる指標、人間として大事なことは何かを教えてくれるものである。

私たちは家庭から、学校から、社会から、鰯^{いわし}の涙を見る眼を、追いやってしまったのではないだろうか。

